

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	広島アニマルケア専門学校
設置者名	学校法人 英数学館

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	動物看護学科	夜・通信	10 単位	9 単位	
	動物管理学科 グルーミングコース	夜・通信	10 単位	6 単位	
	動物管理学科 ドッグトレーニングコース	夜・通信	10 単位	6 単位	
	動物管理学科 ドッグセラピーコース	夜・通信	10 単位	6 単位	

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校の冊子にて閲覧可能、開示請求があれば随時閲覧可能。 本校ホームページにて公表している。 (http://animal.ac.jp/)
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2－① 【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第 2 号の 2－②を用いること。

学校名	広島アニマルケア専門学校
設置者名	学校法人 英数学館

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人本部事務所で冊子にて閲覧可能、開示請求があれば随時閲覧可能。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	幼稚園長	令和 7/5/27 ～令和 9 年 度評議委員 会の終了時 まで	学園の財政改革を 主として法人運営 全般に対する指導・ 助言
非常勤	会社員	令和 7/5/27 ～令和 9 年 度評議委員 会の終了時 まで	学園の広報活動を 主として法人運営 全般に対する指導・ 助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島アニマルケア専門学校
設置者名	学校法人 英数学館

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。 (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業科目ごとに、「単位数」「対象学科」「授業形態」「必修・選択の別」「開講時期」「担当者名(実務経験歴等)」「授業目的」「達成目標」「授業内容とスケジュール」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」について記載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。その中で、卒業までの履修一覧表も公表、配布している。 各科目のシラバスに関しては、毎年次年度担当教員に対し、11月頃を目途に作成、変更等の依頼をし、翌年2月頃を目途に、取りまとめ、校正を行い、3月中に刊行、4月に公表・配布している。	
授業計画書の公表方法	全学生にカリキュラムブックを作成し、公表・配布していると共に、本校ホームページにおいても公表している。 (http://animal.ac.jp/)
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

1 成績評価

- ① 各科目とも試験及び平素の学習活動を考慮し総合評価する。(100点満点)
- ② 再試験で60点以上の得点があっても、評価は60点とする。

2 成績の評定

次のように定める。

評 定	評 価	判 定
優	80点以上	単位認定
良	70点以上 79点以下	単位認定
可	60点以上 69点以下	単位認定
不可	59点以下	単位不認定

3 試験の時期・方法等

- ① 前期・後期の定期試験を一定の時期に行う。
ただし、科目によっては定期試験の日程より以前に行うものもある。
その日程は1週間前に掲示する。
- ② 試験の方法は、筆記、口述、レポート、実技等の中から担当教員が定める方法で行う。
- ③ 定期試験を欠席した場合は、再試験を受験すること。
- ④ 定期試験で、成績が59点以下の場合は再試験を受験すること。
- ⑤ 授業出席時間数が授業実施時間数の3分の2に満たない者は定期試験受験資格がないものとする

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

本校では、GPA等の指標は導入していないが、成績分布に関してはコース毎に成績順位を集計し、成績分布状況における自身の成績を把握できるようにしている。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

学生便覧を作成し、記載している。学生便覧は全学生に配布・公表している。
本校ホームページにおいても公表している。
(<http://animal.ac.jp/>)

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定

卒業の認定に当たっては、学生の単位修得状況及び出席時数、平素の学習成績等を基礎として、総合的に判断する。校長は、進級、卒業判定会議の儀を得て判断し、これを認定する。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

学生便覧を作成し、記載している。学生便覧は全学生に配布・公表している。
本校ホームページにおいても公表している。
(<http://animal.ac.jp/>)

様式第 2 号の 4－② 【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第 2 号の 4－①を用いること。

学校名	広島アニマルケア専門学校
設置者名	学校法人 英数学館

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	事務所で冊子にて閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	事務所で冊子にて閲覧可能
財産目録	事務所で冊子にて閲覧可能
事業報告書	事務所で冊子にて閲覧可能
監事による監査報告（書）	事務所で冊子にて閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物看護学科 動物看護コース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3 年	昼	117 単位時間／単位	94 単位時間/ 単位	23 単位時間/ 単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	
			117 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数		総教員数	
150 人		137 人	0 人	4 人	16 人		20 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																	
（概要） 授業科目ごとに、「単位数」「対象学科」「授業形態」「必修・選択の別」「開講時期」「担当者名（実務経験歴等）」「授業目的」「達成目標」「授業内容とスケジュール」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」について記載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。その中で、卒業までの履修一覧表も公表、配布している。 各科目のシラバスに関しては、毎年次年度担当教員に対し、11 月頃を目途に作成、変更等の依頼をし、翌年 2 月頃を目途に、取りまとめ、校正を行い、3 月中に刊行、4 月に公表・配布している。																	
成績評価の基準・方法																	
（概要） 1 成績評価 ①各科目とも試験及び平素の学習活動を考慮し総合評価する。（100点満点） ②再試験で60点以上の得点があっても、評価は60点とする。 2 成績の評定 次のように定める。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評 定</th><th>評 価</th><th>判 定</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td><td>8 0 点以上</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>良</td><td>7 0 点以上 7 9 点以下</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>可</td><td>6 0 点以上 6 9 点以下</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>不可</td><td>5 9 点以下</td><td>単位不認定</td></tr> </tbody> </table> 3 試験の時期・方法等 ① 前期・後期の定期試験を一定の時期に行う。 ただし、科目によっては定期試験の日程より以前に行うものもある。 その日程は1週間前に掲示する。 ② 試験の方法は、筆記、口述、レポート、実技等の中から担当教員が定める方法で行う。 ③ 定期試験を欠席した場合は、再試験を受験すること。 ④ 定期試験で、成績が59点以下の場合は再試験を受験すること。 ⑤ 授業出席時間数が授業実施時間数の3分の2に満たない者は定期試験			評 定	評 価	判 定	優	8 0 点以上	単位認定	良	7 0 点以上 7 9 点以下	単位認定	可	6 0 点以上 6 9 点以下	単位認定	不可	5 9 点以下	単位不認定
評 定	評 価	判 定															
優	8 0 点以上	単位認定															
良	7 0 点以上 7 9 点以下	単位認定															
可	6 0 点以上 6 9 点以下	単位認定															
不可	5 9 点以下	単位不認定															

受験資格がないものとする
卒業・進級の認定基準
(概要) 1. 卒業認定 卒業の認定に当たっては、学生の単位修得状況及び出席時数、平素の学習成績等を基礎として、総合的に判断する。校長は、進級、卒業判定会議の儀を得て判断し、これを認定する。 2. 進級認定 進級の認定に当たっては、進級、卒業判定会議により、学生の単位修得状況及び出席時数、平素の学習成績等に基づき総合的に判断する。校長は、進級、卒業判定会議の儀を得て校長が認定する。
学修支援等
(概要) 担当制により各学年に担当を配置し、学生との連絡、相談体制を整えている。遅刻、欠席等頻回な学生や成績不振等の学生があれば面談等により個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席、遅刻等が目立つ学生に関しては、担当を中心に保護者へ連絡し出席等を促し、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、また、退学、留年等を防ぐよう努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	11 人 (78.6%)	3 人 (21.4%)
(主な就職、業界等) 動物実験関係企業、動物病院、動物園 他			
(就職指導内容) インターンシップ 実習、求人票の見方、ビジネスマナー、履歴書記入指導、就職説明会の開催、面接指導、就職試験応募から就職までの流れ説明・過ごし方説明			
(主な学修成果（資格・検定等）) 愛玩動物看護師、実験動物 2 級技術者 愛玩動物飼養管理士 1 級、愛玩動物飼養管理士 2 級 ペット栄養管理士、サービス接遇検定 3 級			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
109 人	6 人	5.5%

(中途退学の主な理由) 精神的理由。体調不良、進路変更
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当制を布いており、各学年に担当を配置している。学業面で、学業不振、出席不足等あれば、個別面談・相談・指導を行いサポートしている。 学生生活面においても、個別相談に応じる等し、適切に助言できる体制を整えている。併せて、保証人との連絡調整を行い、家庭と学校で統一認識及び対応ができる体制を整えている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理学科 ケルミングコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	88 単位時間／単位	38 単位時間 ／単位	50 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			88 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
50 人		61 人	0 人	3 人	13 人	15 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																	
（概要） 授業科目ごとに、「単位数」「対象学科」「授業形態」「必修・選択の別」「開講時期」「担当者名（実務経験歴等）」「授業目的」「達成目標」「授業内容とスケジュール」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」について記載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。その中で、卒業までの履修一覧表も公表、配布している。 各科目のシラバスに関しては、毎年次年度担当教員に対し、11 月頃を目途に作成、変更等の依頼をし、翌年 2 月頃を目途に、取りまとめ、校正を行い、3 月中に刊行、4 月に公表・配布している。																	
成績評価の基準・方法																	
（概要） 1 成績評価 ①各科目とも試験及び平素の学習活動を考慮し総合評価する。（100点満点） ②再試験で60点以上の得点があっても、評価は60点とする。 2 成績の評定 次のように定める。 <table border="1"> <tr> <th>評 定</th><th>評 価</th><th>判 定</th></tr> <tr> <td>優</td><td>80 点以上</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>良</td><td>70 点以上 79 点以下</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>可</td><td>60 点以上 69 点以下</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>不可</td><td>59 点以下</td><td>単位不認定</td></tr> </table> 3 試験の時期・方法等 ① 前期・後期の定期試験を一定の時期に行う。 ただし、科目によっては定期試験の日程より以前に行うものもある。 その日程は1週間前に掲示する。 ② 試験の方法は、筆記、口述、レポート、実技等の中から担当教員が定める方法で行う。 ⑥ 定期試験を欠席した場合は、再試験を受験すること。 ⑦ 定期試験で、成績が59点以下の場合は再試験を受験すること。 ⑧ 授業出席時間数が授業実施時間数の3分の2に満たない者は定期試験受験資格がないものとする			評 定	評 価	判 定	優	80 点以上	単位認定	良	70 点以上 79 点以下	単位認定	可	60 点以上 69 点以下	単位認定	不可	59 点以下	単位不認定
評 定	評 価	判 定															
優	80 点以上	単位認定															
良	70 点以上 79 点以下	単位認定															
可	60 点以上 69 点以下	単位認定															
不可	59 点以下	単位不認定															

卒業・進級の認定基準
(概要) 1. 卒業認定 卒業の認定に当たっては、学生の単位修得状況及び出席時数、平素の学習成績等を基礎として、総合的に判断する。校長は、進級、卒業判定会議の儀を得て判断し、これを認定する。 2. 進級認定 進級の認定に当たっては、進級、卒業判定会議により、学生の単位修得状況及び出席時数、平素の学習成績等に基づき総合的に判断する。校長は、進級、卒業判定会議の儀を得て校長が認定する。
学修支援等
(概要) 担当制により各学年に担当を配置し、学生との連絡、相談体制を整えている。遅刻、欠席等頻回な学生や成績不振等の学生があれば面談等により個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席、遅刻等が目立つ学生に関しては、担当を中心に保護者へ連絡し出席等を促し、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、また、退学、留年等を防ぐよう努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27 人 (100%)	0 人 (0%)	21 人 (77.8%)	6 人 (22.2%)
(主な就職、業界等) ペットショップ、ペットサロン 他			
(就職指導内容) インターシップ 実習、求人票の見方、ビジネスマナー、履歴書記入指導、就職説明会の開催、面接指導、就職試験応募から就職までの流れ説明・過ごし方説明			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本警察犬訓練協会訓練士補、JKC 公認訓練準士補 愛玩動物飼養管理士 1 級、愛玩動物飼養管理士 2 級 サービス接遇検定 3 級、損害保険募集人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
66 人	8 人	12.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当制を布いており、各学年に担当を配置している。学業面で、学業不振、出席不足等あれば、個別面談・相談・指導を行いサポートしている。 学生生活面においても、個別相談に応じる等し、適切に助言できる体制を整えている。併せて、保護者との連絡調整を行い、家庭と学校で統一認識及び対応ができる体制を整えている。		

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理学科 ドッグトレーニングコース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	84 単位時間／単位	31 単位時間／単位	53 単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	単位時間／単位	
			84 単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数
50 人		47 人	0 人	2 人		8 人		10 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																	
（概要） 授業科目ごとに、「単位数」「対象学科」「授業形態」「必修・選択の別」「開講時期」「担当者名（実務経験歴等）」「授業目的」「達成目標」「授業内容とスケジュール」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」について記載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。その中で、卒業までの履修一覧表も公表、配布している。 各科目のシラバスに関しては、毎年次年度担当教員に対し、11 月頃を目途に作成、変更等の依頼をし、翌年 2 月頃を目途に、取りまとめ、校正を行い、3 月中に刊行、4 月に公表・配布している。																	
成績評価の基準・方法																	
（概要） 1 成績評価 ①各科目とも試験及び平素の学習活動を考慮し総合評価する。（100点満点） ②再試験で60点以上の得点があっても、評価は60点とする。 2 成績の評定 次のように定める。 <table><tr><td>評 定</td><td>評 価</td><td>判 定</td></tr><tr><td>優</td><td>8 0 点以上</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>良</td><td>7 0 点以上 7 9 点以下</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>可</td><td>6 0 点以上 6 9 点以下</td><td>単位認定</td></tr><tr><td>不可</td><td>5 9 点以下</td><td>単位不認定</td></tr></table> 3 試験の時期・方法等 ① 前期・後期の定期試験を一定の時期に行う。 ただし、科目によっては定期試験の日程より以前に行うものもある。 その日程は1週間前に掲示する。 ② 試験の方法は、筆記、口述、レポート、実技等の中から担当教員が定める方法で行う。 ③ 定期試験を欠席した場合は、再試験を受験すること。 ④ 定期試験で、成績が5 9 点以下の場合は再試験を受験すること。 ⑤ 授業出席時間数が授業実施時間数の 3 分の 2 に満たない者は定期試験受験資格がないものとする			評 定	評 価	判 定	優	8 0 点以上	単位認定	良	7 0 点以上 7 9 点以下	単位認定	可	6 0 点以上 6 9 点以下	単位認定	不可	5 9 点以下	単位不認定
評 定	評 価	判 定															
優	8 0 点以上	単位認定															
良	7 0 点以上 7 9 点以下	単位認定															
可	6 0 点以上 6 9 点以下	単位認定															
不可	5 9 点以下	単位不認定															

卒業・進級の認定基準
(概要) 1. 卒業認定 卒業の認定に当たっては、学生の単位修得状況及び出席時数、平素の学習成績等を基礎として、総合的に判断する。校長は、進級、卒業判定会議の儀を得て判断し、これを認定する。 2. 進級認定 進級の認定に当たっては、進級、卒業判定会議により、学生の単位修得状況及び出席時数、平素の学習成績等に基づき総合的に判断する。校長は、進級、卒業判定会議の儀を得て校長が認定する。
学修支援等
(概要) 担当制により各学年に担当を配置し、学生との連絡、相談体制を整えている。 遅刻、欠席等頻回な学生や成績不振等の学生があれば面談等により個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席、遅刻等が目立つ学生に関しては、担当を中心に保護者へ連絡し出席等を促し、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、また、退学、留年等を防ぐよう努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100%)	0 人 (0%)	19 人 (95.0%)	1 人 (5.0%)
(主な就職、業界等) 自衛隊、ペットショップ、訓練所、動物病院 他			
(就職指導内容) インターシップ 実習、求人票の見方、ビジネスマナー、履歴書記入指導、就職説明会の開催、面接指導、就職試験応募から就職までの流れ説明・過ごし方説明			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本警察犬訓練協会訓練士補、JKC 公認訓練準士補 愛玩動物飼養管理士 1 級、愛玩動物飼養管理士 2 級 サービス接遇検定 3 級、損害保険募集人			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
46 人	7 人	15.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、人間関係、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当制を布いており、各学年に担当を配置している。学業面で、学業不振、出席不足等あれば、個別面談・相談・指導を行いサポートしている。 学生生活面においても、個別相談に応じる等し、適切に助言できる体制を整えている。併せて、保護者との連絡調整を行い、家庭と学校で統一認識及び対応ができる体制を整えている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養 専門課程	動物管理学科 ドッグセラピーコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	84 単位時間／単位	35 単位時間 ／単位	49 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
			84 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40 人		51 人	0 人	2 人	12 人	14 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）																	
（概要） 授業科目ごとに、「単位数」「対象学科」「授業形態」「必修・選択の別」「開講時期」「担当者名（実務経験歴等）」「授業目的」「達成目標」「授業内容とスケジュール」「授業時間外に必要な学修」「テキスト」「参考書」「成績評価」について記載したカリキュラムブックを作成し全学生に公表、配布している。その中で、卒業までの履修一覧表も公表、配布している。 各科目のシラバスに関しては、毎年次年度担当教員に対し、11月頃を目途に作成、変更等の依頼をし、翌年2月頃を目途に、取りまとめ、校正を行い、3月中に刊行、4月に公表・配布している。																	
成績評価の基準・方法																	
（概要） 1 成績評価 ①各科目とも試験及び平素の学習活動を考慮し総合評価する。（100点満点） ②再試験で60点以上の得点があっても、評価は60点とする。 2 成績の評定 次のように定める。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>評 定</th><th>評 価</th><th>判 定</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>優</td><td>80点以上</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>良</td><td>70点以上 79点以下</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>可</td><td>60点以上 69点以下</td><td>単位認定</td></tr> <tr> <td>不可</td><td>59点以下</td><td>単位不認定</td></tr> </tbody> </table> 3 試験の時期・方法等 ① 前期・後期の定期試験を一定の時期に行う。 ただし、科目によっては定期試験の日程より以前に行うものもある。 その日程は1週間前に掲示する。 ② 試験の方法は、筆記、口述、レポート、実技等の中から担当教員が定める方法で行う。 ⑨ 定期試験を欠席した場合は、再試験を受験すること。 ⑩ 定期試験で、成績が59点以下の場合は再試験を受験すること。 ⑪ 授業出席時間数が授業実施時間数の3分の2に満たない者は定期試験受験資格がないものとする			評 定	評 価	判 定	優	80点以上	単位認定	良	70点以上 79点以下	単位認定	可	60点以上 69点以下	単位認定	不可	59点以下	単位不認定
評 定	評 価	判 定															
優	80点以上	単位認定															
良	70点以上 79点以下	単位認定															
可	60点以上 69点以下	単位認定															
不可	59点以下	単位不認定															

卒業・進級の認定基準
(概要) 1. 卒業認定 卒業の認定に当たっては、学生の単位修得状況及び出席時数、平素の学習成績等を基礎として、総合的に判断する。校長は、進級、卒業判定会議の儀を得て判断し、これを認定する。 2. 進級認定 進級の認定に当たっては、進級、卒業判定会議により、学生の単位修得状況及び出席時数、平素の学習成績等に基づき総合的に判断する。校長は、進級、卒業判定会議の儀を得て校長が認定する。
学修支援等
(概要) 担当制により各学年に担当を配置し、学生との連絡、相談体制を整えている。 遅刻、欠席等頻回な学生や成績不振等の学生があれば面談等により個別指導・相談を行う等してサポートしている。欠席、遅刻等が目立つ学生に関しては、担当を中心に保護者へ連絡し出席等を促し、注意喚起を行う等して学業に遅れがでないよう、また、退学、留年等を防ぐよう努めている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14 人 (100%)	0 人 (0%)	13 人 (92.9%)	1 人 (7.1%)
(主な就職、業界等) ペットショップ、アニマルカフェ、動物病院、一般 他			
(就職指導内容) インターシップ 実習、求人票の見方、ビジネスマナー、履歴書記入指導、就職説明会の開催、面接指導、就職試験応募から就職までの流れ説明・過ごし方説明			
(主な学修成果（資格・検定等）) アニマルセラピスト、ペットシッター 愛玩動物飼養管理士 1 級、愛玩動物飼養管理士 2 級 サービス接遇検定 3 級、損害保険募集人、介護職員初任者研修			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44 人	4 人	9.1%
(中途退学の主な理由) 体調不良（持病悪化）、進路変更、経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担当制を布いており、各学年に担当を配置している。学業面で、学業不振、出席不足等あれば、個別面談・相談・指導を行いサポートしている。 学生生活面においても、個別相談に応じる等し、適切に助言できる体制を整えている。併せて、保護者との連絡調整を行い、家庭と学校で統一認識及び対応ができる体制を整えている。		

②学校単位の情報

a)「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
動物看護 学科	100,000 円	660,000 円	540,000 円	施設設備費 300,000 円 実験実習費 240,000 円
動物管理 学科 グルーミング コース	100,000 円	600,000 円	480,000 円	施設設備費 270,000 円 実験実習費 210,000 円
動物管理 学科 ドッグ トレーニング コース	100,000 円	600,000 円	480,000 円	施設設備費 270,000 円 実験実習費 210,000 円
動物管理 学科 ドッグセラピ ーコース	100,000 円	600,000 円	480,000 円	施設設備費 270,000 円 実験実習費 210,000 円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://animal.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
動物関係業界代表者、有識者、卒業生代表、学術機関、高等学校、地域代表等を学校関係者評価委員会のメンバーに委嘱し、学校内で行った自己点検評価の公平性について議論、評価を行い、学校運営・経営の適正化に関する意見を聴取し、公正な学校教育に資する。また聴取した意見を公開する。 上記内容に基づいて、「学修成果」・「教育活動」等、管理運営面においては「学生募集」・「財務」等を主な評価項目とし、学校評価委員会メンバー（動物関係業界、有識者、卒業生代表、学術機関、高等学校、地域代表等）それぞれの立場から現状評価を行う。学校評価委員会メンバーの評価を、教育内容、学生指導へと活用し、適した内容へと変革する。管理・運営に関する面では、学校運営に反映し、教学と相まって本校の運営が円滑なものとなるよう体系的に実施している。 評価・計画委員会規定を設け、公表している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
ハーバー動物病院 院長	R7. 4. 1～R9. 3. 31	動物関係業界委員
株式会社 ターク 社長	R7. 4. 1～R9. 3. 31	動物関係業界委員
広島県獣医師会	R7. 4. 1～R9. 3. 31	動物関係業界委員
株式会社 ターク 卒業生代表	R7. 4. 1～R9. 3. 31	卒業生代表委員
並木学院高等学校	R7. 4. 1～R9. 3. 31	教育関係委員
セブンイレブン広島じぞう通り店 オーナー	R7. 4. 1～R9. 3. 31	地域代表委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://animal.ac.jp		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://animal.ac.jp
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H134310000283
学校名（〇〇大学 等）	広島アニマルケア専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 英数学館

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		50人	47人	51人
内 訳	第Ⅰ区分	23人	24人	
	（うち多子世帯）	（ ）	（ ）	
	第Ⅱ区分	11人	－	
	（うち多子世帯）	（ ）	（ ）	
	第Ⅲ区分	－	－	
	（うち多子世帯）	（ ）	（ ）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－	－	
	区分外（多子世帯）			
家計急変による 支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				51人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2 年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	-
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意 欲が低い状況	-	0人	0人
計	-	0人	-
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。